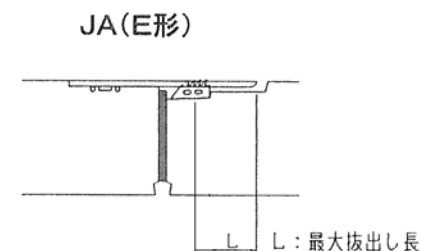


表 3 - 4 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管（その 2）
継手性能 JA（E 形管）

管径 (mm)	有効長 (m)	許容			最大			
		曲げ角度(°)		拔出し長(mm)	曲げ角度(°)		拔出し長(mm)	
		正	誤		正	誤	正	誤
800	2.43	4° 00'	3° 60'	67	4° 16'	4° 48'	71.5	80.5
900	2.43	3° 33'		67	3° 47'	4° 16'	71.5	80.5
1000	2.43	3° 12'		67	3° 25'	3° 50'	71.5	80.5
1100	2.43	2° 56'		67	3° 7'	3° 31'	71.5	80.5
1200	2.43	2° 41'		67	2° 52'	3° 13'	71.5	80.5
1350	2.43	2° 24'		67	2° 35'	2° 53'	72.0	80.5
1500	2.43	2° 09'		67	2° 19'	2° 35'	72.0	80.5
1650	2.43	1° 58'		67	2° 7'	2° 22'	72.0	80.5
1800	2.43	1° 49'		67	1° 57'	2° 10'	72.0	80.5
2000	2.43	1° 38'		67	1° 45'	1° 58'	72.0	80.5
2200	2.43	1° 29'		67	1° 36'	1° 47'	72.0	80.5
2400	2.43	1° 22'		67	1° 43'	2° 02'	84.0	100.0
2600	2.43	1° 16'		67	1° 35'	1° 53'	84.0	100.0
2800	2.43	1° 10'		67	1° 28'	1° 45'	84.0	100.0
3000	2.43	1° 06'		67	1° 22'	1° 38'	84.0	100.0

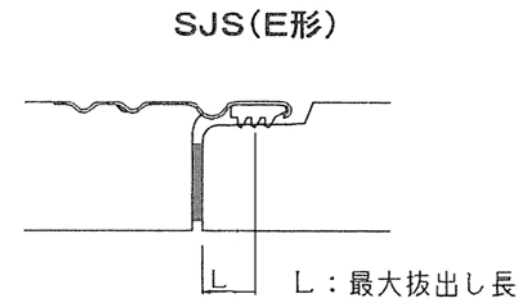


- 1 いゞゞ2における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 いゞゞ1における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがいゞゞ1照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 4 下水道推進工法用鉄筋コンクリート管 JC (その 4)

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管 (その 2)
継手性能 SJS (E 形管)

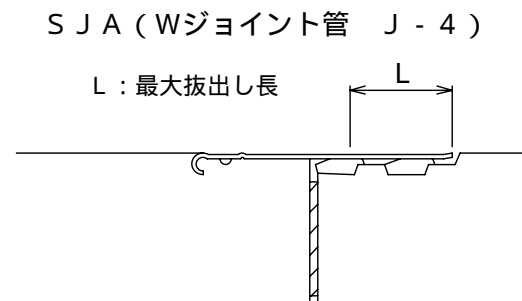
管径 (mm)	有効長 (m)		許容		最大	
	正	誤	曲げ角度 (°)	拔出し長 (mm)	曲げ角度(°)	拔出し長(mm)
200	2.00		2° 37'	14.5	5° 13'	29
250	2.00		2° 18'	14.5	4° 36'	29
300	2.00		2° 00'	14.5	4° 00'	29
350	2.43	2.00	1° 46'	14.5	3° 32'	29
400	2.43		1° 35'	14.5	3° 09'	29
450	2.43		1° 25'	14.5	2° 51'	29
500	2.43		1° 18'	14.5	2° 36'	29
600	2.43		2° 02'	27.0	4° 04'	54
700	2.43		1° 45'	27.0	3° 31'	54



- 1 パール 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
- 2 パール 1 における照査数値は、パール 2 照査数値の 1/2 とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパール 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管（その 3）
継手性能 SJA（Wジョイント管 J - 4）

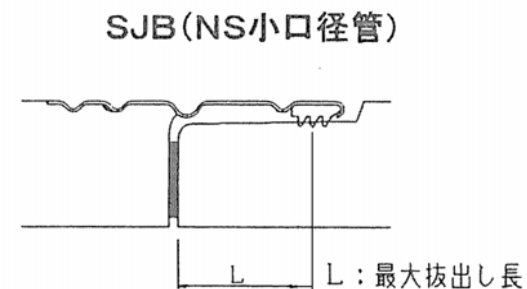
管径 (mm)	有効長 (m)		許容		最大	
	正	誤	曲げ角度 (°)	拔出し長 (mm)	曲げ角度 (°)	拔出し長 (mm)
200	2.00			40		
250	2.00		6° 20'	40	8° 13'	52
300	2.00		5° 31'	40	7° 10'	52
350	2.43	2.00	5° 43'	47	6° 19'	52
400	2.43		5° 06'	47	5° 39'	52
450	2.43		4° 36'	47	5° 05'	52
500	2.43		4° 12'	47	4° 39'	52
600	2.43		3° 32'	47	4° 31'	60
700	2.43		3° 03'	47	3° 54'	60



- 1 パール 2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 パール 1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがパール 1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。

表 3 - 5 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管（その 4）
継手性能 SJB（NS 小口径推進管）

管径 (mm)	有効長 (m)		許容		最大			
			曲げ角度	拔出し長	曲げ角度		拔出し長	
	正	誤			正	誤	正	誤
200	2.00		8° 56'	50	14° 12'	14° 43'	80.5	83.5
250	2.00		7° 54'	50	12° 36'	13° 04'	80.5	83.5
300	2.00		6° 53'	50	11° 00'	11° 24'	80.5	83.5
350	2.43	2.00	6° 55'	57	9° 43'	10° 04'	80.5	83.5
400	2.43		6° 11'	57	8° 42'	9° 01'	80.5	83.5
450	2.43		5° 34'	57	7° 51'	8° 08'	80.5	83.5
500	2.43		5° 05'	57	7° 10'	7° 26'	80.5	83.5
600	2.43		4° 17'	57	6° 25'	6° 39'	85.5	88.5
700	2.43		3° 42'	57	5° 33'	5° 45'	85.5	88.5



- 1 いゞ2 における照査数値は、最大拔出し長及び最大曲げ角度を使用する。最大拔出し長とは、止水ゴム輪が拔出さない最大長さをいう。また、最大拔出し長を角度として表したものであるか、管が屈曲可能な最大曲げ角度をいう。
最大拔出し量及び最大曲げ角度は登録管ごとに異なる。
- 2 いゞ1 における照査数値は、許容値とする。曲線敷設における目開きと地震動による拔出しがいゞ1 照査数値を上回らないよう十分考慮して設計する。